

第 15 回 鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会 技術的助言

日時：令和 6 年 2 月 22 日（木） 14：00～16：00

場所：秋田 JA ビル 9 階 大ホール

1. 令和 5 年度 鳥海ダム環境モニタリング調査結果に関する技術的助言

①水質

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	金委員	水質関連のモニタリング結果については、概ね環境基準をクリアしていることから、特に問題はないと考える。	—
2	金委員	濁水の調査結果は、単年の調査結果だけではなく、今後の工事進捗状況に応じた処理施設や沈砂池の能力及び処理方式は、どのように考えて進めているのかを一緒に示していただきたい。 現状の資料に記載しているバイオログフィルター等の濁水処理施設は、今後発生すると想定される濁水の発生量に対して規模が小さく、処理能力として非常に厳しいものがある。今後の一連の処理方針について説明いただきたい。	濁水処理施設・沈砂池の整備方針、現場条件を踏まえた処理方針に関しては、改めて整理を行ったうえでご説明させていただく。 なお、濁水処理設備のほか、特に土工等を行う面積と必要な沈砂池の容量の考え方についても整理を行ってご説明する。また沈砂池等に設置するバイオログフィルターについては、土工等の規模や沈砂池の規模に応じた設置量となるよう工事受注者に指示し対応する。
3	金委員	大腸菌数の評価について、一時的なピークの確認だけでは必ずしも超過とは言えない。基準値の超過が継続して確認される場合に対策が必要となるため、データの評価については工夫していただきたい。	データの取り扱いについて検討し、整理方法についてご相談させていただきたい。

②動物

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	田中委員	サンショウウオ類について、資料では調査地点別の産卵場の確認箇所数を示しているが、箇所数だけでは少ない印象を受けるため、卵塊数も合わせて示していただきたい。	承知した。
2	田中委員	ヒバカリは、山形県のRDBのみで選定されている種であるため予測対象種には該当しないという位置づけだが、秋田県でも近年確認例が非常に少ないため、注意して確認していただきたい。	承知した。
3	田中委員	重要な種の中で近似種が多いものを幾つか見せていただいたが、誤同定が散見された。特にガヤチョウのうち少なくとも重要種は展翅・展脚して標本の状態で保存していただきたい。	承知した。
4	田中委員	マルタニシ、オオタニシのマーキングの件について、マーキング自体は消えるところまで確認されており、当初の目的は達成できたと考える。少なくとも2,3年近くは移植個体が定着して生存していたとして評価して良い。	—
5	加藤委員	鳥類調査について、資料中では出現した種数の増減を比較して考察しているが、種数が変わらなくても個体数の増減が見られる場合がある。とりまとめ時には個体数の増減にも留意する必要がある。	鳥類調査に関しては、種数だけでなく確認個体数も考慮して調査、とりまとめをしていきたい。

③湿地環境の整備状況

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	小笠原 委員長	現場視察会の杉山委員の意見として「マルタニシ等が鳥類に捕食されにくくするため」とあるが、マルタニシを食べる鳥類として、具体的にどの種が想定されるのか、杉山委員に確認していただきたい。	後ほど、杉山委員へ確認して報告する。
2	沖田委員	湿地環境整備の際に、保全対象種としてレッドリストに記載のあるものだけでなく、湿地の景観を代表するような植物も加えていただきたい。	表土移植に併せて、ご指摘頂いた植物も湿地環境へ移植できると考えている。景観を代表する植物の移植については、引き続き相談しながら進めていく。

④人と自然と触れ合いの活動の場

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	小笠原 委員長	「夏の釣り利用が確認されなかった」とあるが、これはこの期間魚がないからではないか。調査する際には、対象となる魚種がいるのかを定めた上で、釣り人の有無の聞き取り調査をしていただきたい。	承知した。

⑤廃棄物

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	金委員	今年度の実績では、脱水ケーキが100%最終処分場に運ばれており、運搬時に相当なCO ₂ が排出されていると考える。CO ₂ 削減という観点からも現地で再利用ができる体制づくりを考えていかないといけない。 緑化基盤材としての利用を考えた際に、いくつかの環境基準をある程度クリアしていけば、十分活用できるのではないかと期待している。	—

2. 今後の環境モニタリング調査計画に関する技術的助言

①令和6年度 モニタリング調査計画

No.	委員名	技術的助言	回答及び対応方針
1	横山委員	鳥海山の緑や鳥海ダム環境による恵みを活かした「鳥海自然動植物園」や「鳥海石のモニュメント」、「ブナの森再生」、「ダム堤体への装飾」というような取り組みを、今後のダムづくり・地域づくりの計画に盛り込んでいけないだろうか。	地域づくり、周辺整備といった分野については、今後工事が本格化すると、由利本荘市と一緒に具体的に取り組んでいくことになる。横山委員からいただいた御意見については、地域づくり、周辺設備、水源地域ビジョンといった別の場で改めてアドバイスいただきながら検討を進めていきたい。
2	小笠原委員長	ダムの完成に向けて、将来的にどのようなビジョンを持ってダムを造っていくのか、という部分についても考えておいていただきたい。	—
3	金委員	ダムツーリズム的な発想で、ダム本体を夜景としてプロジェクションマッピングやライトアップ、それらのイベント化のような発想はあるのだろうか。	由利本荘市からは話は出ているが、具体化はしていない。ダムの活用等の案については、今後、由利本荘市の作る委員会や水源地域ビジョンに盛り込んでいく形になると考えている。ダムとしては、地域の要望は応援していく立場で取り組んでいく。